

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, January 2017

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

○ 1月の状況 (佐藤)

☆ 45P/Honda-Mrkos-Pajdusakova (写真 a)

彗星課メーリングリスト (oaa-comet ML、以下同じ) に次のように報告があった。

1月5日 23:12、杉山行浩氏 (神奈川県平塚市) から「平塚の杉山です。本年もよろしくお願ひします。久しぶりの眼視観測で、ICQフォーマットでの報告は初めてです」とのコメントの他、6日 01:56、宇都宮章吾氏 (熊本県南小田町) から「熊本・阿蘇の宇都宮です。あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。2016年は、震災、豪雨、長雨と自然災害続きで観測の少ない年でしたが、2017年は、年明けより好天気が続いています。…1週間前より集光が少し弱まりコマが大きく見える」とのコメントと眼視光度観測があった (主な光度等観測報告を参照)。

6日 13:31、関勉 OAA 顧問から「芸西城の関です。今年も宜しくお願ひします。45P/本田・ムルコス・パ彗星が発見されたのは1948年12月初めの事でした。1947年から連続した3個の彗星発見に、当時の新聞は『また彗星発見』という見出しで大きく報じました。当時高2だった私は星の好きなクラスメートと小さな屈折で観測を試みましたが失敗に終わりました。この前後に『日食彗星』という大彗星が出現しました。当時本田さんは広島県沼熊郡瀬戸村の『黄道光観測所』で発見。15 cm反射 23×でした。恐ろしいほどの星空の暗い場所です。…」

とのコメントがあった。

17日 23:00、筆者から「MPEC 2017-A77で掲載された以外の観測です。1月15.37日 UT、門田さんは0.25-m f/5.0 反射+CCDで全光度を7.3等と観測しました。16.39日 UT、芸西チームは、0.70-m f/10 反射 +レデューサー (f/5) で全光度を7.3等と観測しました。ただ精測位置は得られませんでした」とコメントし、改良軌道要素を報告した。

1月中、国内では他に、門田健一氏 (埼玉県上尾市, 0.25-m f/5.0 反射+CCD; 1月1.37日 UT, 4.37日 UT, 7.37日 UT, 9.36日 UT, それぞれ全光度7.6等, 7.4等, 7.4等, 7.3等)、菅原賢氏 (東京都町田市, 0.2-m f/4.0 反射+CCD; 3.36-3.38日 UT, 核光度10.2-10.4等)、高橋俊幸氏 (宮城県栗原市, 0.25-m f/4.2 反射+CCD; 6.37日 UT, 全光度7.6等)の位置観測があった。

☆ C/2016 U1 (NEOWISE) (写真 b)

1日 21:45、嶋邦博氏 (東京都府中市) から「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。さて、今朝方NEOWISE彗星を撮りました。細長い尾が確認できます。画像が添付できないのが残念です。そのうち、アストロアーツのHPの投稿画像に載せます (投稿名:モンドシャルナ)」とのコメントと光度等観測報告があった (先月の主な光度等観測報告を参照)。

4日 00:42、張替憲氏（千葉県船橋市）から「皆様、船橋市の張替です。本年もよろしくお願いたします。私の1月3日未明の画像でもC/2016 U1 (NEOWISE)の淡い尾が写り始めました。PA320° 約10′ でした」とのコメントと画像案内があった。

17日 21:33、筆者から「MPEC 2017-A77で掲載された以外の観測です。1月 6.88日、7.87日 UT、大島さんは0.30-m f/4.6反射+CCDで全光度をそれぞれ8.2等、8.4等と観測しました。7.87日 UT、高橋さんは0.25-m f/4.2反射+CCDで全光度を8.5等と観測しました。『北西方向(PA=310度)に長さ25′ 弱の淡い尾が伸びています。測光範囲は直径474″です』とのこと。9.86日、10.87、12.88日 UT、門田さんは0.25-m f/5.0反射+CCDでそれぞれ全光度を8.0等、7.8等、7.9等と観測しました」とコメントし、改良軌道要素を報告した。

1月中、国内では他に、門田健一氏（埼玉県上尾市、0.25-m f/5.0反射+CCD; 1月 4.86日、6.87日 UT、それぞれ全光度8.8等、8.3等）、安部裕史氏（島根県松江市八束、0.26-m f/6.0反射+CCD; 6.89日 UT、全光度8.3等）の位置観測があった。

○ 1月に発見・検出された彗星

☆ C/2017 A3 (Elenin) L. Elenin (Lyubertsy, ロシア)の通報によると、1月5日 UT、Siding SpringにあるISON-SS0天文台の0.4-m f/2.4アストログラフで得た3枚のCCD画像から約14″の拡散したコマのある彗星を発見した。小惑星センターのPCCP webpageに公表後、C. Jacques、E. PimentelとJ. Barros (0.45-m f/2.9反射望遠鏡, SONEAR天文台, Oliveira,

ブラジル)や佐藤英貴氏(東京都文京区, iTelescope天文台, 0.51-m f/6.8アストログラフ+輝度フィルター, Siding Spring, 遠隔操作)らCCD位置観測者によって彗星状と観測された(CBET 4344, 2017 January 11)。

☆ P/2010 J5 = 2017 B2 (McNaught) J. V. Scotti (月惑星研究所, Arizona 大学)の通報によると、Kitt PeakにあるSpacewatch 1.8-m f/2.7反射望遠鏡で得たR-バンドCCD画像からP/2010 J5 (IAUC 9148, 9157を参照)を検出した。この彗星は全ての画像で暗く恒星状であった。1月26日、この彗星は大変暗く、写真の極限いっぱい、1月29日は長時間露出をしたが貧弱なシーイングだった。ICQ's 2016 Comet Handbook (p. H15)の中野主一氏の予報に対して、Delta(T)は、+0.01 dayであった(CBET 4352, 2017 January 30)。

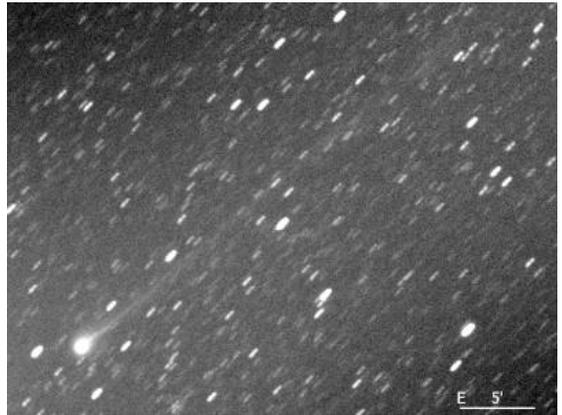
その他1月に発見された彗星は次のとおり。

- ・ C/2017 A1 (PANSTARRS) 発見光度 19.6等
- ・ P/2017 A2 = P/2011 A5 (PANSTARRS) 発見光度 21.3等
- ・ P/2017 B1 = 2010 EY90 (Lemmon) 発見光度 21.0等
- ・ C/2016 VZ₁₈ (PANSTARRS) 発見光度 21.8等
- ・ C/2017 B3 (LINEAR) 発見光度 19.2等
- ・ P/2017 B4 (PANSTARRS) 発見光度 21.2等

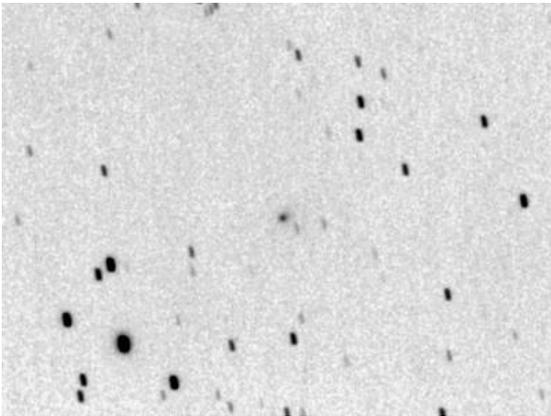
これらのうち、C/2017 A1、P/2017 A2、C/2017 B3、P/2017 B4について、佐藤英貴氏(東京都文京区)は、iTelescope天文台(MPCコードQ62、H06)とiTelescope Sierra Remote天文台(MPCコードU69)の望遠鏡で確認観測をした。



(写真 a) 45P/Honda-Mrkos-Pajdusakova
2017, 01, 06 18h05.0m-27.5m (JST)
exp. 30s×40 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) C/2016 U1 (NEOWISE)
2017, 01, 08 05h40.1m-46.7m (JST)
exp. 30s×12 0.25-m f/4.2 L + CCD
宮城県栗原市 高橋俊幸氏



(写真 c) 41P/Tuttle-Giacobini-Kresak
2017, 01, 24 23h36.0m-24h10.0m (JST)
exp. 60s×31 TOA130 + CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 d) C/2015 V2 (Johnson)
2017, 01, 08 04h02.3m-19.1m (JST)
exp. 60s×16 0.25-m f/4.2 L + CCD
宮城県栗原市 高橋俊幸氏

○ 主な光度等観測報告

2017	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
C/2015 ER ₆₁ (PANSTARRS)											
Jan.	2.85	13.3	1.2'	2	-	-	4/5	-	EOS6D**	張替憲	①②③
	6.78	13.1	1.2	2	-	-	4/5	-	EOS6D**	張替憲	①③④
	24.83	12.2	1.1	3/	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	⑤⑥
	25.79	12.8	1.0	5	2.0'	290°	4/5	-	EOS6D**	張替憲	①⑦⑧
	27.78	12.6	1.7	5	3.0	276	4/5	-	EOS6D**	張替憲	①⑧⑨
P/2015 TP ₂₀₀ (LINEAR)											
Jan.	5.66	15.8	0.1'	-	0.3'	250°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	6.69	16.8	0.1	-	0.2	250	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	15.72	16.5	0.1	-	0.2	260	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
C/2015 V2 (Johnson) (写真 d)											
Jan.	1.80	12.5	0.6'	-	8'	320°	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	2.77	12.0	1.3	6	8.0	321	4/5	-	EOS6D**	張替憲	①②⑫
	2.84	12.6	0.6	-	7	320	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	3.79	12.0	0.6	-	7	320	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	3.84	11.5	1	4	-	-	5/5	-	25×15-cmB	宇都宮章吾	
	4.83	12.3	0.6	-	7	320	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	5.82	12.3	0.6	-	7	320	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	6.86	12.3	0.6	-	8	320	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	19.79	12.1	0.6	-	8	320	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	24.79	11.9	1.7	6/	-	-	-	-	75×40-cmL	吉田誠一	⑤⑬
	25.72	12.0	1.4	6	7.4	326	4/5	-	EOS6D**	張替憲	①⑦⑭
	27.76	11.8	2.0	6	6.0	324	4/5	-	EOS6D**	張替憲	①④⑭
C/2016 U1 (NEOWISE) (写真 b)											
Jan.	2.85	8.3	3.5'	7	28.0'	321°	4/5	-	EOS6D**	張替憲	①②⑮
	2.86	9.3	1.3	-	11	330	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	3.84	8.6	1.0	-	8	330	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	3.87	7.2	2	6	-	-	3/5	-	25×15-cmB	宇都宮章吾	⑬
	4.86	8.7	1.0	-	1°	330	3/5	3/5	8-cmR***	嶋邦博	⑩⑪
	6.85	7.8	2.8	7	36.0'	312	4/5	-	EOS6D**	張替憲	①④⑮
	6.86	8.0	1.0	-	10	330	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
2P/Encke											
Jan.	15.42	16.5	2'	-	0.4'	300°	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	24.39	12.2	1.7	1/	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	⑤⑰
41P/Tuttle-Giacobini-Kresak (写真 c)											
Jan.	2.67	17.1	0.1'	-	0.2'	290°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	3.65	17.1	0.1	-	0.2	290	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	5.70	17.6	0.1	-	0.3	290	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	24.78	13.8	0.7	3	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	⑤⑱
43P/Wolf-Harrington											
Jan.	24.80	13.6	0.6	2/	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	⑤⑲
45P/Honda-Mrkos-Pajdusakova (写真 a)											
Jan.	1.37	8.0	1.0'	-	1.5°	80°	4/5	4/5	8-cmR***	嶋邦博	⑩⑪
	1.38	6.6	3	4	-	-	-	-	11×8-cmB	杉山行浩	
	2.38	8.0	1.0	-	1.5	80	3/5	3/5	8-cmR***	嶋邦博	⑩⑪
	2.38	6.5	4	4	-	-	-	-	11×8-cmB	杉山行浩	
	3.38	8.4	1.0	-	1.5	80	4/5	4/5	8-cmR***	嶋邦博	⑩⑪

2017	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
45P/Honda-Mrkos-Pajdusakova (続き)											
Jan.	4. 38	7. 6	1. 0	-	1. 5	80	3/5	3/5	8-cmR***	嶋邦博	⑩⑪
	4. 40	6. 8	3	5	0. 1	-	2/5	-	25×15-cmB	宇都宮章吾	⑳
	5. 39	7. 3	1. 0	-	1. 5	80	3/5	3/5	8-cmR***	嶋邦博	⑩⑪
	6. 38	9. 3	1. 0	-	1. 5	80	4/5	4/5	8-cmR***	嶋邦博	⑩⑪
	16. 39	6. 5	4. 5	7	-	-	3/5	3/5	63×70-cmL	関 勉	㉑㉒㉓㉔
56P/Slaughter-Burnham											
Jan.	4. 51	16. 3	0. 1'	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
73P/Schwassmann-Wachmann											
Jan.	24. 84	13. 7	0. 6'	2	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	⑤⑳
74P/Smirnova-Chernykh											
Jan.	1. 61	16. 7	0. 1'	-	0. 3'	265°	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	5. 67	17. 0	0. 1	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪㉕
	15. 83	17. 0	0. 1	-	-	-	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	19. 51	16. 5	0. 1	-	0. 2	265	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
93P/Lovas											
Jan.	15. 44	15. 6	0. 2'	-	0. 3'	50°	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	24. 40	[13. 5	!0. 6	-	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	⑤㉖
144P/Kushida											
Jan.	1. 83	15. 4	0. 5'	-	-	-	4/5	4/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	24. 82	13. 9	0. 9	2/	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	⑤㉗
315P/LONEOS											
Jan.	4. 67	16. 0	0. 3'	-	0. 6'	265°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	⑩⑪
	24. 85	14. 0	0. 3	2	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	㉖㉗

* 45cm F12 (レデューサー使用 F4.6) カセグレン反射+FLI ML8300

** デジタル一眼 CANON EOS6D+15 cm F2.8 反射 *** 7.5-cm 屈折+FLI ML8300

① デジタル一眼 CANON EOS6D+15 cm F2.8 反射の G 画像をマカリ Makali'i Ver1.4a にて測光。観測地は千葉県九十九里海岸。② 40 秒露出(20 秒×2) ③ コマは集光のない恒星状。④ 60 秒露出(30 秒×2) ⑤ 観測地：茨城県常陸大宮市・花立山自然公園。⑥ 低空のためか、思ったより遥かに暗く、見づらい。⑦ 50 秒露出(25 秒×2) ⑧ 集光のない恒星状のやや青いコマから北西に短く淡い尾が伸びている。⑨ 25 秒露出 ⑩ 観測地：長野県富士見町 五藤光学八ヶ岳観測所。⑪ 60 秒露出を Astrometrica UCAC-4 で測定。⑫ 集光のある円盤状の白いコマから北西に尾が伸びている。⑬ とても集光が強く、見やすい。11 等星に近すぎて、コマの広がりが見えていないかもしれない。⑭ 集光のある円盤状の白いコマから北西に尾が伸びている。⑮ 強く集光した青い円盤状のコマから北西に細い尾が急成長している。⑯ 300mm f/4 画像では、1° ほど尾が伸びている。⑰ 拡散状。⑱ 既に眼視で見えるようになっていた。小さい。⑲ 意外にもまだ見えていた。球状星団 M68 のすぐ近く。⑳ 1 週間前より集光が少し弱まりコマが大きく見える。㉑ 薄明中。㉒ 淡い尾は見えず。㉓ Alt. 7° ㉔ GSC5784.1500 (TYC5784-1500-1, 6.45 等) とほぼ同じ明るさ。㉕ 意外にも、既に眼視で見えるようになっていた。㉖ close to a star ㉗ 見えなかった。㉘ 意外にもまだ見えていた。㉙ かりうじて存在が分かる程度。

※ 全ての光度等観測は、次を参照。

http://www.comet-web.net/~oaa-comet-ml/comet_mag_report.htm

※ 光度等の観測報告は、佐藤裕久宛て e-mail : hirohisa-sato@hi-ho.ne.jp に送付ください。